

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

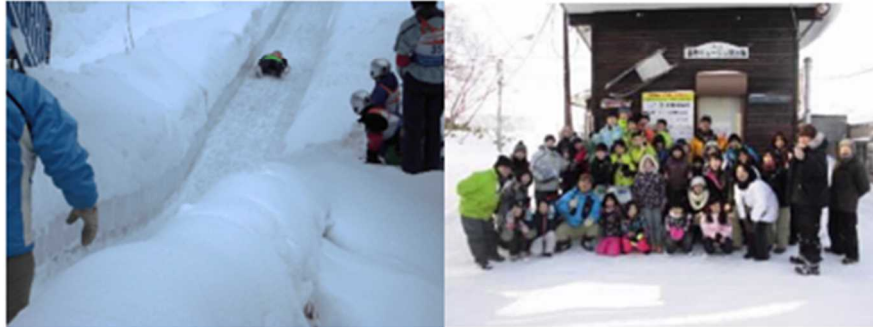
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

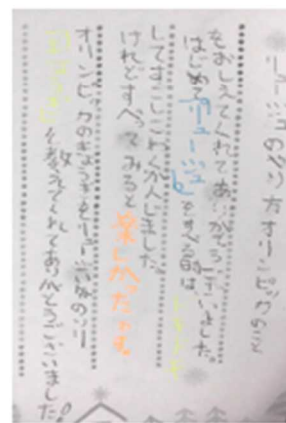
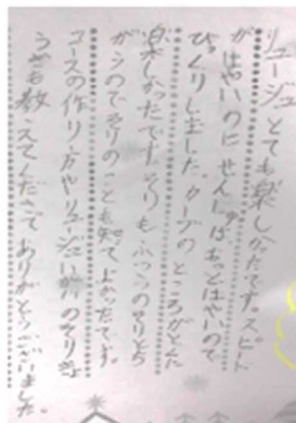
1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立藤の沢小学校 3年生：24名、4年生：27名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・本校OBが冬季五輪に出場していることを知り、愛校心をもつとともに、自分の将来について考えるきっかけとする。 ・リュージュへの興味、関心を喚起し、リュージュ競技への理解を深めるとともに、冬期間における体力向上の取組のきっかけづくりとする。
5 取組内容	職員室前のオリンピックコーナーで本校を卒業した先輩方がリュージュ競技でオリンピックに出たことを知り、リュージュ競技について調べ交流を行う。オリンピックで札幌リュージュ連盟理事長伊藤徹氏からリュージュ競技についてお話をしていただき、実際に藤野リュージュ競技場でリュージュ体験を実施する。リュージュ体験実施後に学習の振り返りを行う。 ○指導計画 [総合的な学習の時間] 単元名「リュージュに乗ろう（1 1 時間扱い）」 ・本校OBが冬季オリンピックに出場したことを知る（1 時間） ・オリンピック競技「リュージュ」について調べる（2 時間） ・調べたことを交流しよう（1 時間） ・リュージュ体験について知ろう（1 時間） ・ようこそ先輩（1 時間） ・リュージュ体験(4 時間) ・学習の振り返りを行う(1 時間)



伊藤理事長からのリージュのお話、リージュ滑走路で最終確認



200mと250mのコースでリージュ体験を実施



学習の振り返り：「お礼のお手紙」

6 主な成果

- 本校では、オリンピックコーナーが常設されている。また、過去のリージュ体験のDVDも視聴可能であり、講師とリージュ競技を身近に感じることができた。8名のオリンピックのOBがいる藤の沢小学校への愛校心を更にもつことができた。
- リージュ競技を調べることを通して、調べたい内容を明確にし(課題を探究する力)、調べる手段を選び(追究する力)、目的に応じてまとめる(進んで関わろうとする力)力を付けることができた。
- リージュと冬季オリンピックについての理解を深めることができ、冬季間の体力向上への意欲をもつきっかけとなった。

7実践において工夫した点 (事業の特色)

取組の内容に記載した通り。

8主な課題等	・藤野リ्यूージュ競技場への移動方法として路線バスを利用しているが、時間的に余裕を生み出すため変更が必要。 ・学習した内容を他学年に発信していくことを行うことができていなかったので、次年度は検討したい。 ・リ्यूージュ体験は天候に左右されるところがある点に難しさを感じる。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。